

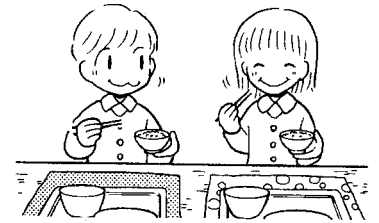


あけましておめでとうございます！

新しい年がスタートしました。今年も「安全第一」に、そして「子どもたちから楽しみに待たれる給食」をめざしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ご存じですか？

1月24日は『学校給食記念日』です。



☆学校給食のはじまり

明治22年、山形県鶴岡市でお弁当を持ってこられない子どものためにおにぎりや簡単なおかずを出したことが、学校給食の始まりといわれています。

☆学校給食の広がり

第二次世界大戦の食糧不足で学校給食は中止になってしまい、栄養失調や病気になる子どもが増えました。戦後、昭和21年12月24日、アメリカのNGO団体の「ララ」(“Licensed Agencies for Relief in Asia”の略称)から脱脂粉乳や砂糖、缶詰などの救援物資が贈呈され、学校給食が再開されました。現在、この日は冬休みと重なるために1ヶ月後の1月24日を学校給食の記念日としています。その後、昭和24年からはユニセフの援助も加わり、外国からの支援は昭和39年まで続きました。

当時は子どもたちの栄養補給が第一の目的でしたが、今では大切な教育の一環として、大きな期待が寄せられています。

☆現在の学校給食

このような歴史を知り、給食についてたずさわる人々に感謝をして、健康な生活が送れるよう食事について学ぶのが学校給食です。

子どもたちは今、心も体も大きく成長するときです。給食を毎日しっかり食べていくことの積み重ねが、生涯にわたる心身の健康につながるのではないのでしょうか。

毎日の給食はたくさんの人の手をとってできています。



みんなが残さずに食べて、元気に遊んだり、勉強できるように願って作っています！